

埼玉県環境白書の刊行にあたって



今日の複雑で多様化した環境問題は、私たちが物質的な豊かさや高い利便性を求め、社会や経済を発展させる過程で引き起こしてしまったものです。大量に排出される温室効果ガスは地球温暖化を急速に進行させ、様々な分野への影響が危惧されています。国境を越えて対策に取り組む必要があります、まさに地球規模の問題と言えます。一方で、社会や経済の安定的な発展のためには、エネルギー問題の克服にも取り組まなければなりません。

これらの課題に対応するためには、私たち一人一人が、環境・経済・社会のバランスのとれた「持続可能な社会」の構築を目指して、環境への負荷の少ない生活を送る必要があります。美しい自然とかけがえのない環境を将来の世代に引き継ぐことは、現在を生きる私たちの責務です。

本県では、「埼玉県環境基本計画」に基づき、これらの複雑かつ深刻な課題の解決に取り組むとともに、埼玉の豊かな自然環境を守り伝えていくための様々な施策を進めています。

例えば、温暖化の防止に向けて、県民や事業者の皆様、行政などが力を合わせ、埼玉県総ぐるみの運動を展開しています。一方、温暖化の影響と考えられる現象が本県でも現れる中、本年3月に「ストップ温暖化・埼玉ナビゲーション2050～埼玉県地球温暖化対策実行計画～」を見直し、温暖化に伴うリスクに対応する「適応策」にも取り組んでいくこととしました。

また、エネルギーの問題にも、埼玉ならではの挑戦を進めています。エネルギーの地産地消を目指す「埼玉エコタウンプロジェクト」では、地球環境への負荷が少ない再生可能エネルギーを中心に、県内各地のモデル街区で着実にその成果を挙げています。

さらに、PM2.5の監視体制の充実などの大気汚染物質対策、資源循環型社会を定着させる廃棄物対策、「川の国埼玉」の実現を目指す川の再生、生物多様性の保全など、幅広い分野の課題解決に力を入れています。

この「埼玉県環境白書」は、本県における環境の保全及び創造に関する施策の進捗状況を取りまとめたものです。

この白書が、多くの県民の皆様の環境問題に対する理解を深め、環境の保全・創造活動に取り組まれる際の一助となれば幸いです。今後とも、皆様の御支援と御協力を心からお願い申し上げます。

平成27年12月

埼玉県知事 上田清司